



2025年4月28日

各 位

会社名 北陸電気工事株式会社  
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 山崎 勇志  
(コード番号 1930)  
問合せ先 経理部長 出村 昌規  
(TEL 076 - 481 - 6093)

## 支配株主等に関する事項について

### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く）又はその他の関係会社の商号等

(2025年3月31日現在)

| 名称       | 属性  | 議決権所有割合(%) |       |       | 発行する株券が上場されている<br>金融商品取引所等 |
|----------|-----|------------|-------|-------|----------------------------|
|          |     | 直接所有分      | 合算対象分 | 計     |                            |
| 北陸電力株式会社 | 親会社 | 50.11      | —     | 50.11 | 株式会社 東京証券取引所 プライム市場        |

### 2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

当社は北陸電力株式会社の連結子会社であり、同社は2025年3月31日現在で当社議決権の50.11%を所有しております。

取引上の関係では、当社は同社を中心とした北陸電力グループの中で配電線工事及び送変電工事等を主に請負施工し、電気の安定供給という社会的使命の一端を担っております。

また、当期末における同社及び同グループの主要企業である北陸電力送配電株式会社に対する完成工事高合計は170億2百万円であり、当社の完成工事高に占める割合は37.2%であります。人的関係については、同社の執行役員1名が当社取締役を兼務しております。

当社は同社及び同グループ各社との協力関係を保ちながら強固な資本関係を構築して経営戦略を共有化し、確固たる事業体制の整備と経営の効率化を図っていく方針であります。当社の営業取引の過半を占める内線・空調管工事では、その大部分が一般企業及び官公庁との取引となっております。従って、同社とは緊密な協力関係にあるものの、当社は自己責任のもと自主的な経営判断による自律的な運営を行っており、上場会社としての経営の独立性は確保されております。

### 3. 支配株主等との取引に関する事項

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

| 種類  | 会社等の名称   | 所在地        | 資本金<br>(百万円) | 事業の<br>内容   | 議決権等<br>の被所有<br>割合(%) | 関連当事者<br>との関係                     | 取引の内容            | 取引金額<br>(百万円) | 科目       | 期末残高<br>(百万円) |
|-----|----------|------------|--------------|-------------|-----------------------|-----------------------------------|------------------|---------------|----------|---------------|
| 親会社 | 北陸電力株式会社 | 富山県<br>富山市 | 117,641      | 発電・<br>販売事業 | 直接 50.11<br>間接 —      | 内線・空調管<br>工事等の請負<br>役員の兼任<br>及び転籍 | 内線・空調管<br>工事等の請負 | 1,722         | 完成工事未収入金 | 1,041         |

(注) 取引条件ないし取引条件の決定方針等

取引条件については、市況等を検討し、価格交渉のうえ、決定しております。

#### 4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

##### (1) グループ経営に関する考え方及び方針

当社は北陸電力株式会社を中心とした企業集団「北陸電力グループ」に属しており、同社の連結子会社です。当社は、親会社である北陸電力株式会社及び同社が100%出資する子会社(以下、合わせて「親会社等」という)から送配電設備等の電力供給設備に係わる電気工事を請負施工しており、当社においては親会社等は重要な取引先であります。

北陸電力グループにおいては、2023年4月に公表した「北陸電力グループ新中期経営計画(2023~2027年度)」に基づき、グループ会社が相互に緊密な連携のもと、円滑に経営を遂行し、総合的に事業の成長と発展を目指すなか、電力の安定供給という社会的使命を果たし、お客さまから選択される企業であり続けることが肝要であると考えており、お客さまニーズの多様化への対応、大幅な増加が見込まれる送配電設備の改修工事等への対応が求められていることから、当社を中核とする施工体制を構築していく必要があると考えております。

当社においては、親会社と当社との間でより強固な資本関係を構築して経営戦略を共有化し、経営資源の相互活用を推進していくことが北陸電力グループの持続的な成長・進化の観点から極めて有効であると考え、結果として北陸電力グループ全体の企業価値向上に資するものと考えております。

##### (2) 親会社からの独立性に関する考え方

当社のガバナンス体制の構築及び運用については、独立社外役員の選任等を通じて主体的に対応しており、親会社等からの独立性は確保されていると考えております。具体的には、親会社等と少数株主との利益が相反する重要な取引・行為については、独立社外取締役及び独立社外監査役の全員で構成された特別委員会において、審議することとしております。また、親会社等と当社の一般株主との間に利益相反リスクがあることを踏まえ、独立社外取締役の選任により、少数株主の保護に努めており、親会社等は当社の独立社外取締役の選任にあたり候補者の指名に関与しておりません。また、当社は自己責任のもと自主的な経営判断による自律的な運営を尊重する旨の契約を、親会社との間で締結しております。

以 上